インド鍵盤楽器考

ハルモニウムと電子キーボードの普及にみる楽器のグローカル化とローカル文化の再編

岡田恵美【著】　5600円+税

インドでは、古典音楽の演奏に西洋楽器が積極的に取り入れられてきた。本書では、インドの伝統文化に定着した外来楽器の中でも特にハルモニウムと電子キーボードという鍵盤楽器に着目し、その受容の過程を分析している。音階の性質から元来インド音楽にはそぐわないはずのこうした楽器をインドの人々がどのように受け入れ、独自に改良を加えながら自分たちのものとしていったか——。楽器自体や奏法の改良により今では古典音楽に不可欠な楽器にまで変貌を遂げた鍵盤楽器の変遷を軸に、楽器生産者や演奏者など異文化受容の壁に果敢に立ち向かった人々の努力の軌跡をも辿りながら、異文化のグローカル化とローカル文化再編のあり方について考える。
【日本学術振興会平成28年度助成出版】

序　論
1. なぜインドの鍵盤楽器に注目するのか？／2. 外来楽器の受容
研究：論点と研究アプローチ／3. 本書の構成と調査概要
《第１部 北インドにおけるハルモニウムのローカル化》
第１章 ハルモニウムの受容と変遷
1. フランスから波及したハルモニウム・リードオルガン産業／2. インドへのハルモニウムの伝播／3. インド国産ハルモニウム誕生／4. ハルモニウムの浸透と禁止論争／5. 演奏家による貢献と新たな改良楽器の登場
第２章　国産ハルモニウム製作にみる都市単位でのローカル化
1. 国産ハルモニウム製作の転換期／2. 各都市のハルモニウム産業の特徴／3. 事例：インド東部コルカタのドゥワルキン工房／4. 事例：インド西部ムンバイのハリバウー工房／5. 事例：インド北部デリーのビーナー工房
第１部　小結
《第２部 電子キーボードの普及にみるグローカル化の諸相》
第３章 インド国内における電子キーボードの需要拡大
1. 電子キーボードが普及した社会・文化的背景／2. 電子キーボードの需要拡大によるローカル文化の変容
第４章 インド市場における電子キーボードのグローカル化のプロセス
1. 日系楽器メーカーによる本格的なインド市場参入／2. インド市場向け電子キーボードの登場
第２部　小結
《第３部 インド鍵盤楽器考》
第５章 ハルモニウムと電子キーボードの受容に関する比較考察
1. 楽器のグローカル化と文化の再編についての考察／2. インド音楽文化がもつ楽器に対する寛容性

個人・書店様注文書

インド鍵盤楽器考　岡田恵美【著】　5600円+税

お名前	ご注文冊数　冊
ご住所（〒　　）	お電話番号（　　）

【書店様】
ご注文の際には
溪水社宛に FAX
をお送り下さい。

FAX
082-246-7876

番線印

◆お問合せ 直接のご注文は
溪水社
広島市中区小町1-4（〒730-0041）TEL (082) 246-7909
E-mail info@keisui.co.jp　FAX (082) 246-7876